

タイトル	日本の伝統文様を使ったデザインのエコバッグを作ろう			
学校名	千葉県立 佐倉西高等学校	美術	氏名	小出 ゆかり
教材費	1500円程度	実施時間	16時間	

1. この授業で付けたい力

日本の伝統文様に関心を持ち、主体的に楽しんで表現や創造活動に取り組む力。
シルクスクリーンの技法を理解し、丁寧に制作・表現する力
学んだ事を一つの窓として、浮世絵や文化財を楽しく鑑賞する力

2. 題材設定の理由

現在の勤務校においては、日本の伝統的な文化や美術を鑑賞の授業として取り上げてみても関心を高めることが難しい。説明中のちょっとした事柄も生徒は案外わかっておらず、まずそれについて説明することからになってしまう。

身近な文化を紹介し、自分たちと「繋がっている」ことを知り、身近な物のデザインに取り入れる体験を通して日本の伝統文化に興味・関心を持たせたいと考えた課題である。

3. 材料

切り抜きタックスクリーンセット	1200円	
ニューセリカラー(インク)	1382円	80人で2個
エコバッグ	100～200円程度	
試刷り用晒布	1000円程度	2束
マスキングテープ・カッター・アクリル絵の具・筆		

4. 展開

【文様の学習】 3時間

【身近な文様】 1時間

教科書の表紙絵（浮世絵）に見られる文様、佐倉の祭りの山車に取り入れられた文様、七五三のお守りや産着に麻の葉、畳のへり、清涼飲料のパッケージに見る伝統文様、TVアニメちびまる子ちゃんのスポンサーミツウロコのマークに見る文様などを紹介

【デザイン】 4時間

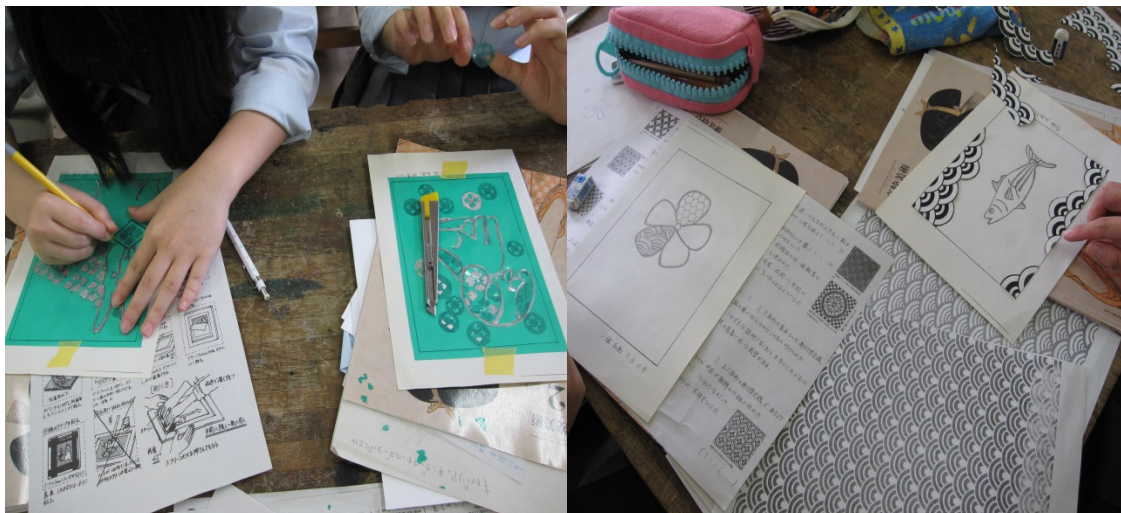
伝統文様と①②③のどれかを組み合わせてデザインを考える。

- ① 現代的な物（古いと新しい）
- ② 西洋的な物（日本・東洋と西洋）
- ③ 動植物（パターンと有機的な物）

・図書室でなるべくさまざまな物をスケッチする。

- ・スケッチを基に文様との構成を考え、組合わせて図案とする。
- ・カッティング用に線の太さや色を付けるところを黒く塗りきれいに描く。

【版の制作】 6時間



【プリント・色差し】 2時間

- ・試刷の布とバックにプリント
- ・早く終わったものは、乾いたらアクリル絵の具を使って筆で塗る

